

## 徳島市公共交通不便地域調査業務の実施について

### 1 目的

本市では、平成22年3月に策定した「徳島市地域公共交通総合連携計画」に基づき、持続可能なバスネットワークの構築に向け様々な取り組みを実施してきた。また、平成26年9月に同計画の見直しを行い、これまでの事業実施状況の検証・評価を行うとともに、さらなる施策の推進を図ることとした。

この計画目標の一つに「公共交通不便地域の減少」を掲げており、同地域の現状や住民ニーズを把握・調査し、移動手段の確保について改善策の検討を行う。

### 2 公共交通を取り巻く現状 ※ 別紙1参照

- (1) 地域の特性
- (2) 公共交通の現状

### 3 市民アンケート調査について

#### (1) 調査目的

公共交通不便地域の現状や住民ニーズを把握するため、下記のとおりアンケート調査を実施する。

#### (2) 調査対象

##### ① 対象総数

3,000人

##### ② 抽出方法

住民基本台帳から、公共交通不便地域に居住する16歳以上の市民について、無作為に抽出を行う。各地区の人口構成比率・年齢別人口構成比率に応じて配分した数をそれぞれ抽出する。

※ 公共交通不便地域：鉄道駅から半径700m、バス停から半径300m以上離れた地域

### (3) 実施方法

#### ① 調査票の送付

対象者へ徳島市長名で郵送する。

#### ② 調査票の返送

回答者から返信用封筒により、調査票を地域交通課へ返送してもらう。

#### ③ 調査結果の集計及び分析

調査結果の集計、分析、課題の抽出等を行う。

#### ④ 実施時期

平成27年8月                      アンケート調査の実施

    〃    9月～10月      集計、分析、結果取りまとめ

#### ⑤ 調査項目

※ 別紙2 徳島市の公共交通に関する市民アンケート調査（案）参照

ア 日常の外出行動

イ 現在及び将来の移動

ウ 公共交通の利用意向

エ 公共交通の維持・確保 など

# 公共交通を取り巻く現状

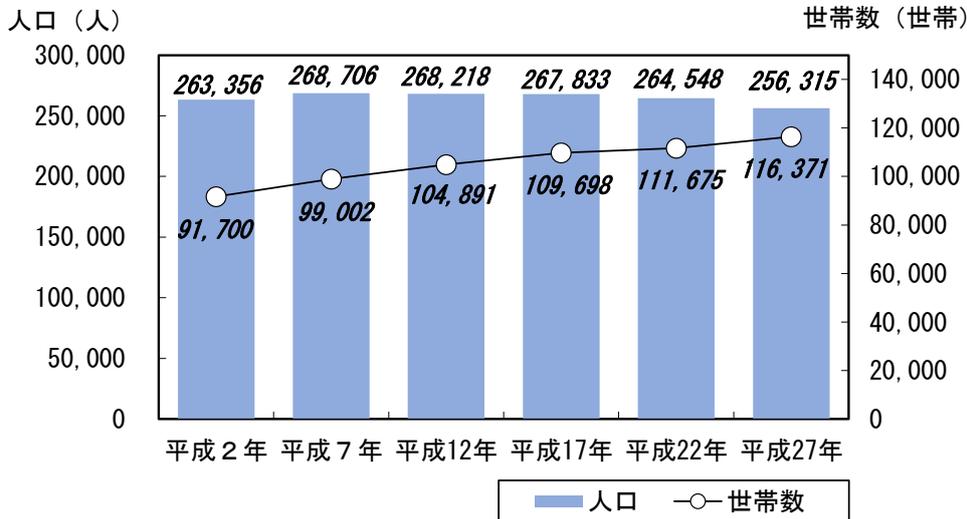
## 1 地域の特性

### (1) 人口動向

○徳島市の総人口は平成27年4月1日現在（住民基本台帳）256,315人、世帯数116,371世帯で、国勢調査による推移を見ると、人口は減少傾向、世帯数は増加傾向となっている。

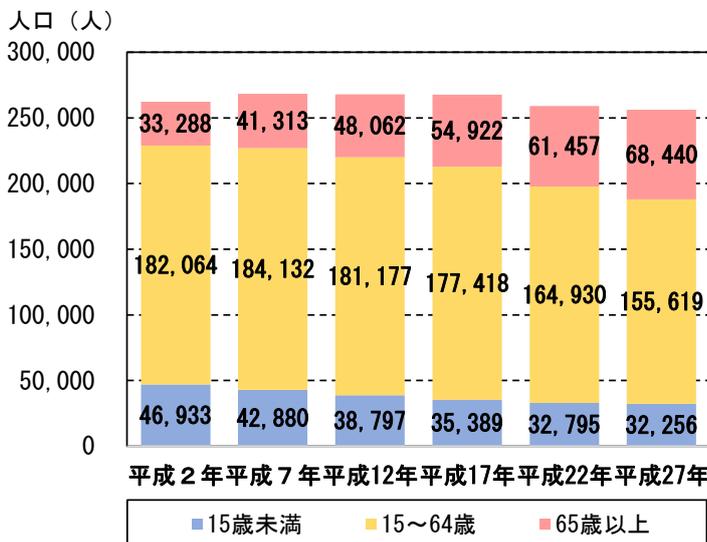
○年齢3区分別人口は、平成27年4月1日現在（住民基本台帳）において、年少人口（15歳未満）32,256人、生産年齢人口（15歳～64歳）155,619人、高齢人口（65歳以上）68,440人で、年少人口、生産年齢人口は減少傾向にある。高齢人口（65歳以上）は25年間（平成2年～平成27年）で2.06倍に増加し、総人口に占める構成比も12.7%から26.7%と大幅に増加している。

■総人口・世帯数の推移

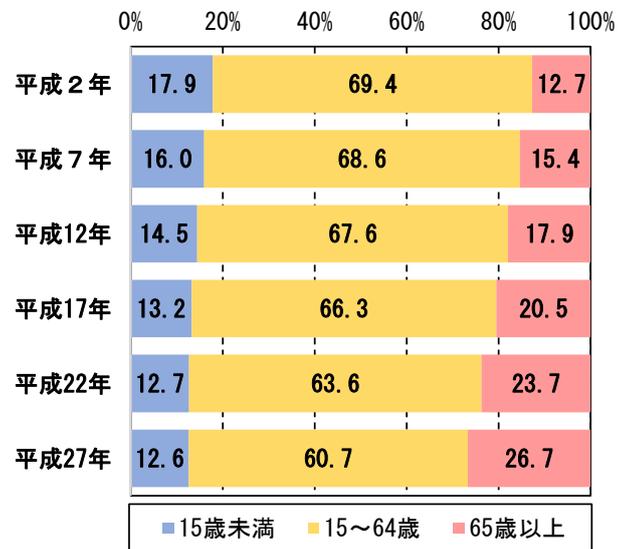


出典：平成2年から平成22年は国勢調査、平成27年は住民基本台帳（H27.4）

■年齢3区分別人口構成数



■年齢3区分別人口構成率

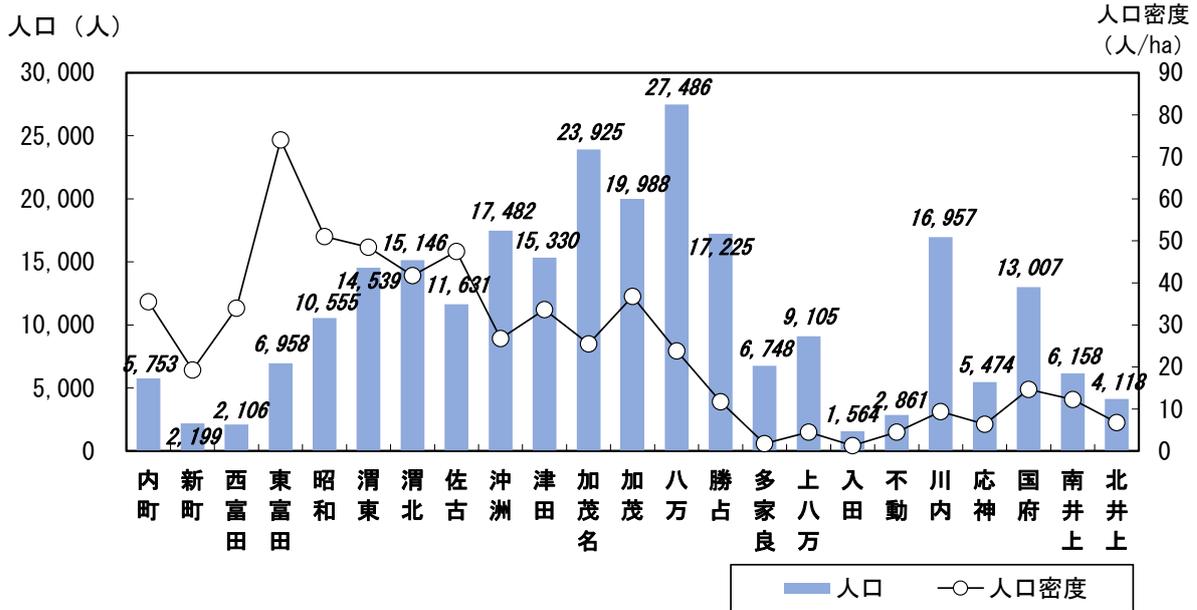


出典：平成2年から平成22年は国勢調査（年齢不詳の者を除く）、平成27年は住民基本台帳（H27.4）

## (2) 地区別人口分布と高齢化率

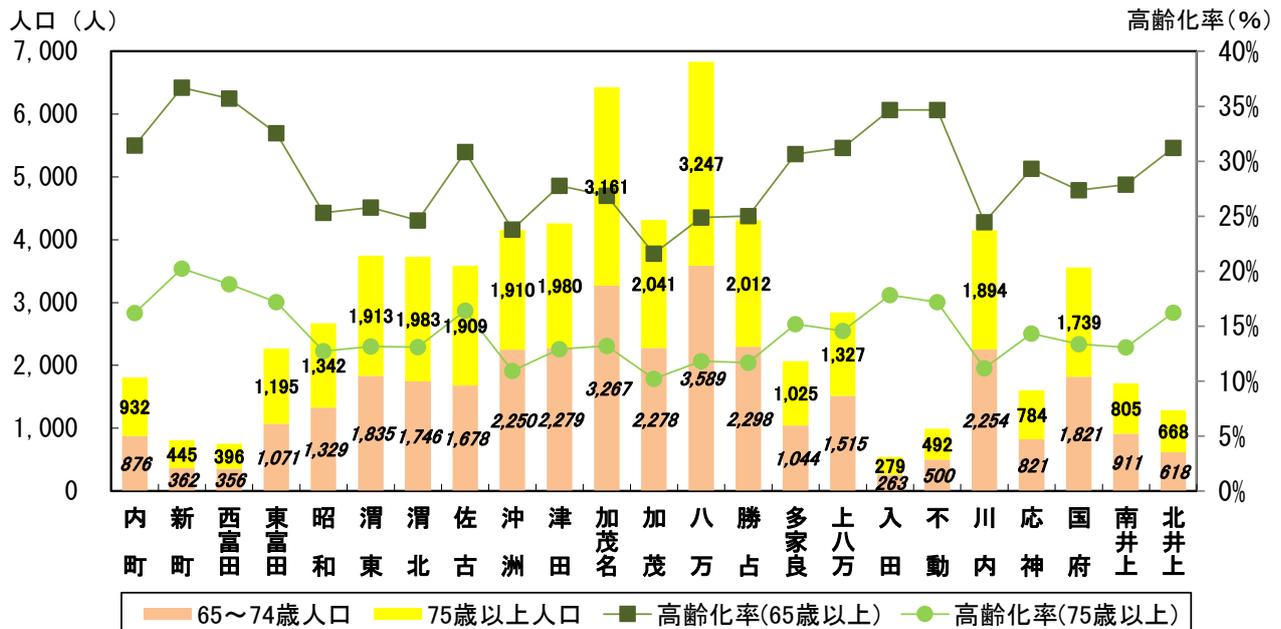
- 地区別人口を見ると、沖洲、加茂名、加茂、八万、勝占、川内地区で多く、また、人口密度では、中心部の東富田、近郊部の昭和、渭東、佐古地区で高い。
- 地区別高齢者の状況を見ると、高齢化率（65歳以上）は中心部の内町、新町、西富田、東富田、近郊部の佐古、郊外部の多家良、上八万、入田、不動、北井上地区で30%を、75歳以上では中心部の新町地区で20%を超えている。

■地区別人口・人口密度



出典：住民基本台帳（H27.4）

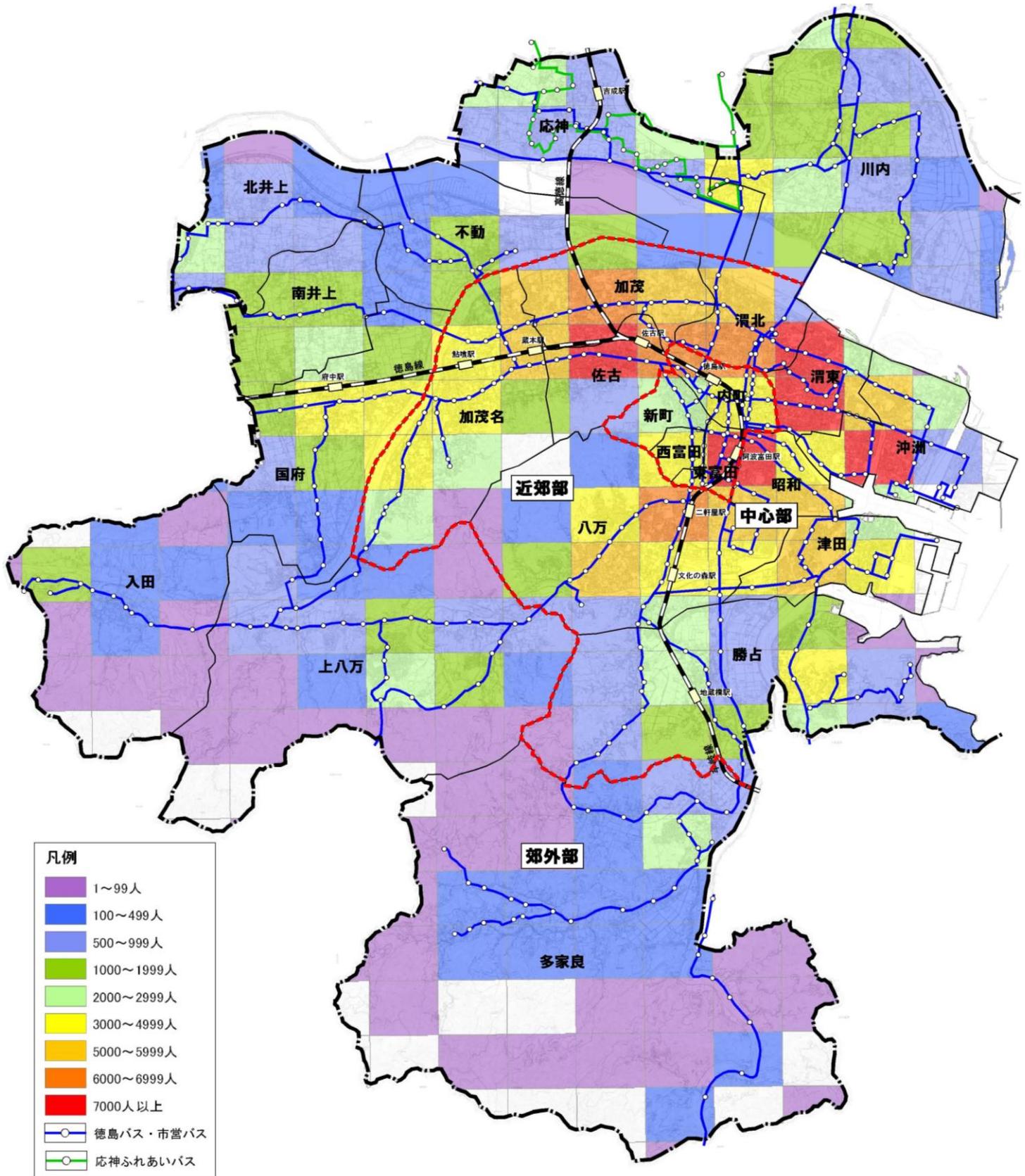
■地区別高齢人口・高齢化率



出典：住民基本台帳（H27.4）

○人口が多いのは、中心部と近郊部の渭東、佐古、沖洲地区で、人口が少ないのは郊外部の多家良、入田地区で、1km<sup>2</sup>当たり500人未満のメッシュが大部分を占めている。

■ 1kmメッシュ別人口

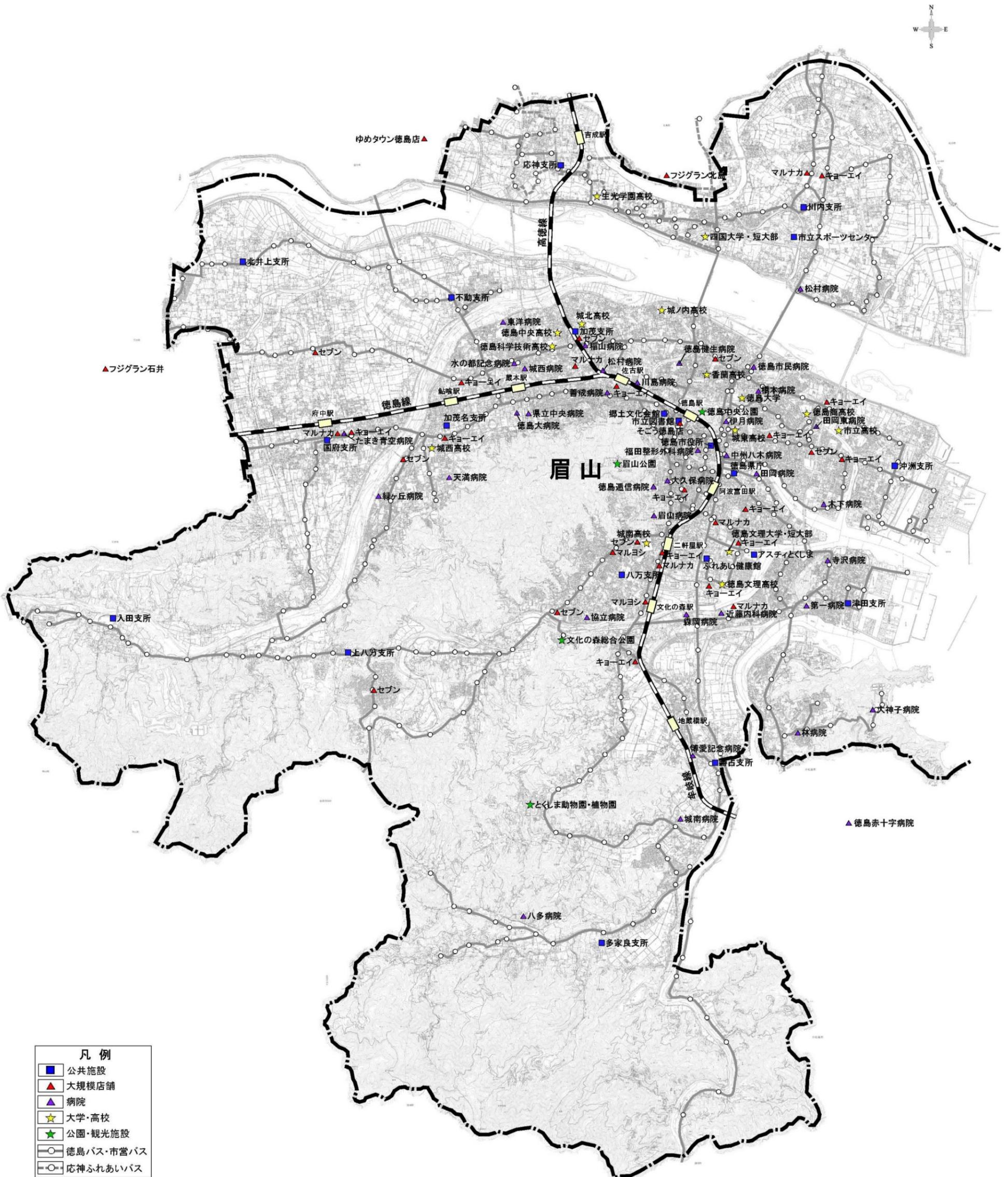


出典：平成 22 年国勢調査

### (3) 主要施設立地状況

○鉄道及び路線バス沿線に公共施設、商業施設、病院などの主要施設が集中している。

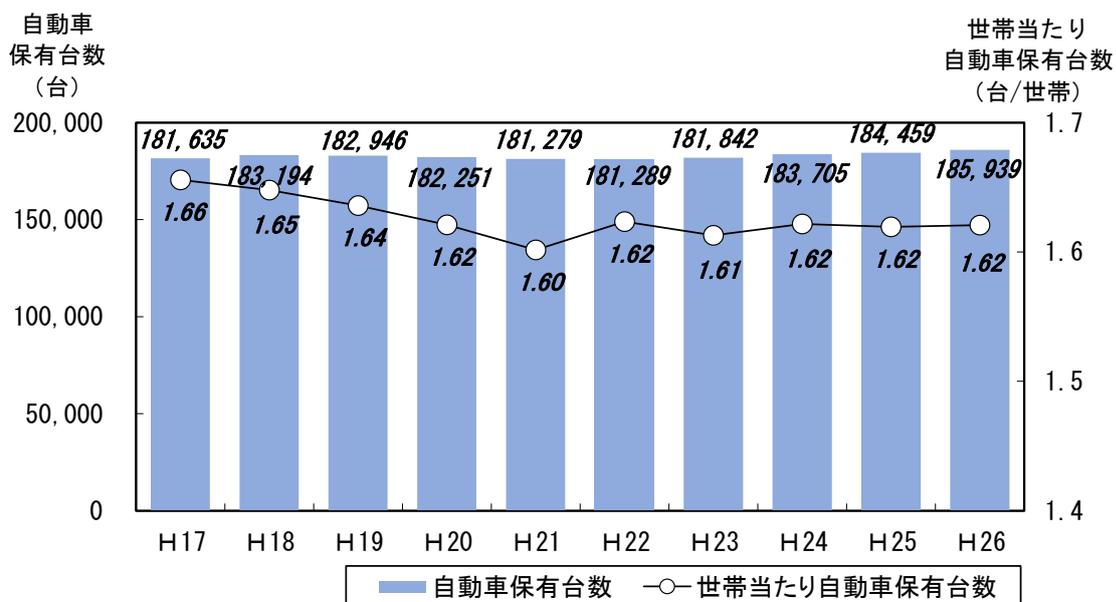
#### ■主要施設立地状況



#### (4) 自動車保有台数の推移

- 徳島市の自動車保有台数は、平成 18 年度まで増加し、その後横ばい状態で、平成 23 年度から増加に転じており、平成 26 年度時点で約 186,000 台となっている。
- 1 世帯当たり自動車保有台数については、平成 21 年度まで減少傾向で、それ以降横ばい状態で、平成 26 年度時点で 1.62 台/世帯と依然として高い。

■自動車保有台数及び1世帯当たり自動車保有台数の推移



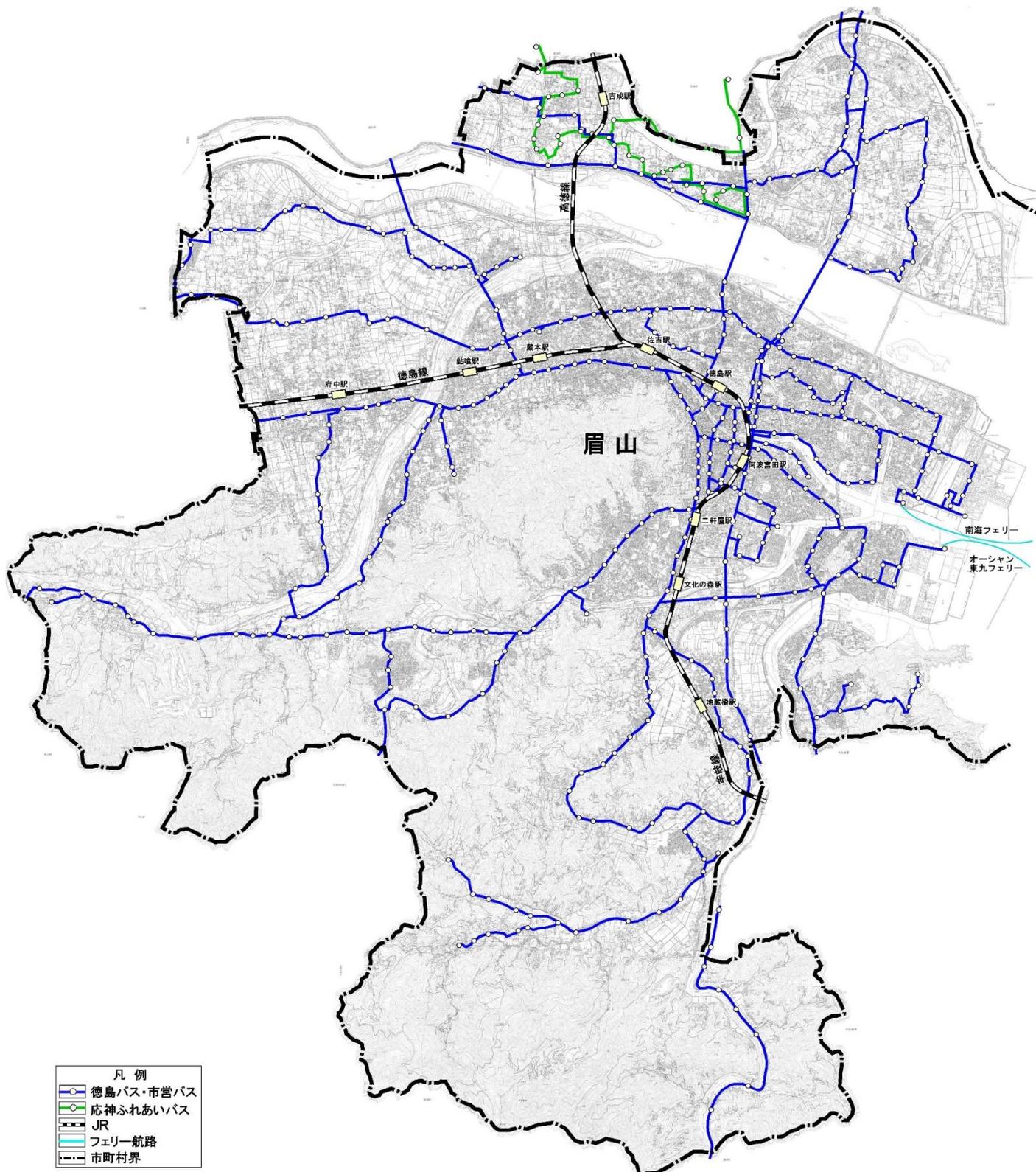
出典：徳島市統計年報

## 2 公共交通の現状

### (1) 公共交通ネットワーク

○市内を運行中の公共交通機関は、鉄道（JR 徳島線、高德線、牟岐線）、路線バス（徳島市営バス、徳島バス、応神ふれあいバス）、高速バス（JR 四国バス、徳島バスなど）、フェリー（南海フェリー、オーシャン東九フェリー）の4種類がある。

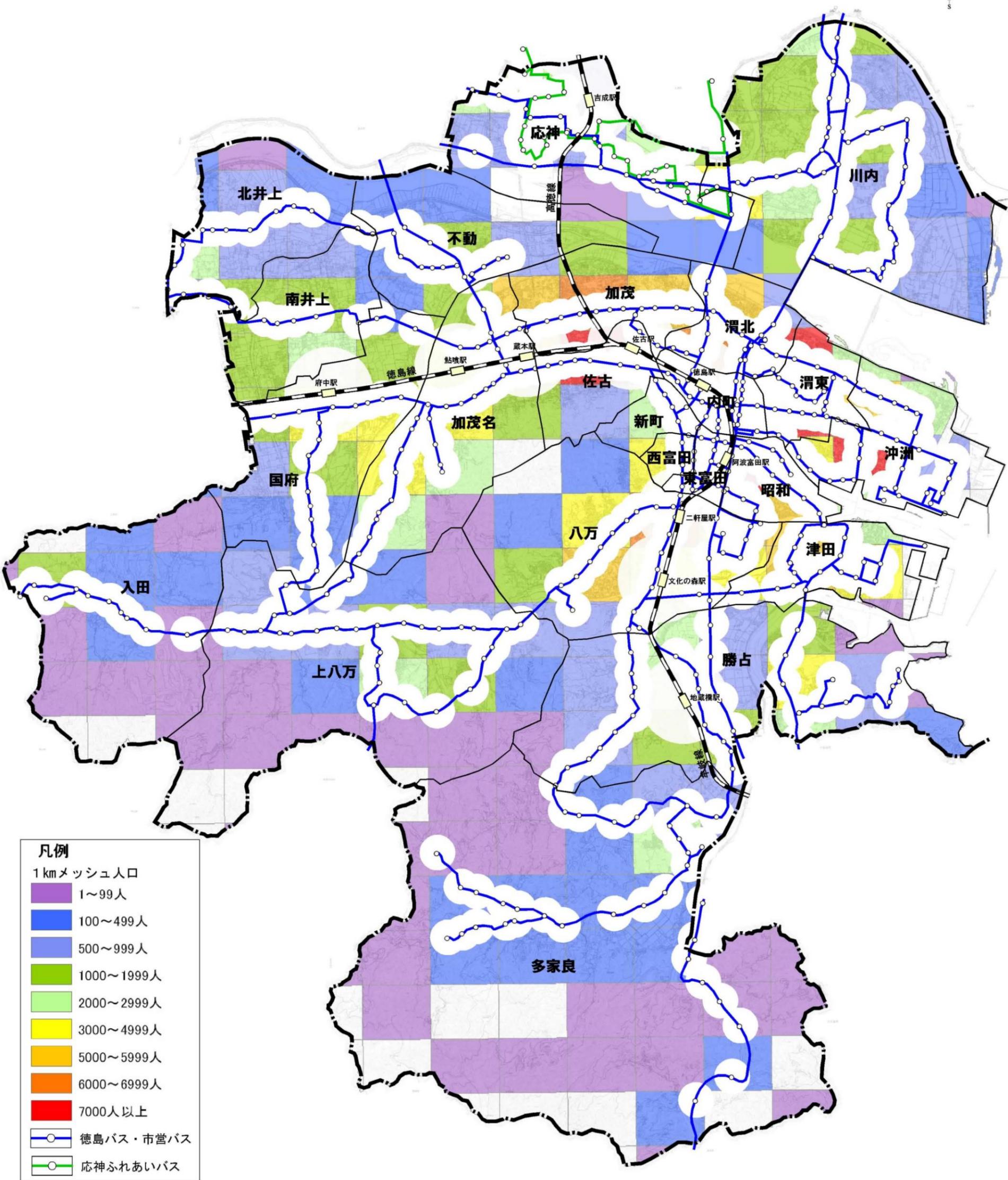
#### ■公共交通ネットワーク



(2) 公共交通不便地域の状況

○公共交通不便地域（鉄道駅から半径 700m 以遠、バス停から半径 300m 以遠）は南部、西部と沿岸部に多く存在している。  
 ○公共交通不便地域の人口密度は、加茂地区の吉野川沿い、佐古、加茂名、八万及び川内地区などで比較的高く、南部では低い。

■公共交通不便地域と人口分布



凡例

1 kmメッシュ人口

1~99人
100~499人
500~999人
1000~1999人
2000~2999人
3000~4999人
5000~5999人
6000~6999人
7000人以上

○ 徳島バス・市営バス

○ 応神ふれあいバス

# 徳島市の公共交通に関する市民アンケート調査

日頃は、市政推進にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

現在、路線バスなどの公共交通は、通勤、通学、通院といった市民生活に不可欠な移動手段としての役割を担っており、少子高齢化社会の中で、今後も重要性を増していくことが考えられます。

このため、皆さんの日常の外出行動や公共交通の利用意向などについてご意見をお伺いし、これからの公共交通のあり方を検討する上での基礎資料とするため、市民アンケート調査を実施することといたしました。

本調査は、16歳以上の市民の皆さんから無作為に選ばせていただいた3,000人の方にご協力をお願いしております。ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理し、調査目的以外に使用することはありません。

今後の徳島市の公共交通を考えていく上で、極めて重要な調査となりますので、趣旨をご理解いただき、お忙しいところ誠に恐縮ですが、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成27年〇月

徳島市長 原 秀樹

## 【アンケート記入にあたってのお願い】

- ご回答は、宛名にあるご本人がご記入くださいますようお願いいたします。  
ただし、何らかの事情により、ご本人が記入できない場合は、ご家族の方などが代わりにお答えいただいても結構です。
- 回答は、番号に○を付けてください。( ) 内には、具体的な内容をご記入ください。

ご記入が終わりましたアンケート調査票は、同封の返信用封筒に入れ、

**〇月〇日 ( ) までに**ポストにご投函ください(切手は不要です)。

住所・氏名をご記入いただく必要はありません。

## 【問い合わせ先】

〒770-8571 徳島市幸町2丁目5番地 徳島市都市整備部地域交通課

TEL : 088-621-5535 (直通) FAX : 088-623-1066

# 徳島市の公共交通に関する市民アンケート調査票

## 1 あなた（回答者）ご自身についてお聞きします。

問1. あなたご自身のことについてお聞きします。（それぞれ1つに○印）

(1) お住まいの地区は？	①内町      ②新町      ③西富田      ④東富田      ⑤昭和 ⑥渭東      ⑦渭北      ⑧佐古      ⑨沖洲      ⑩津田 ⑪加茂名      ⑫加茂      ⑬八万      ⑭勝占      ⑮多家良 ⑯上八万      ⑰入田      ⑱不動      ⑲川内      ⑳応神 ㉑国府      ㉒南井上      ㉓北井上 ㉔地区が不明の場合は町名をご記入ください （      町      ）例：川内町榎瀬、名東町1丁目
(2) 性別は？	①男性      ②女性
(3) 年齢は？	①16～19歳    ②20～29歳    ③30～39歳    ④40～49歳 ⑤50～59歳    ⑥60～69歳    ⑦70～79歳    ⑧80歳以上
(4) 職業は？	①会社員・公務員    ②自営業    ③学生 ④専業主婦・主夫    ⑤パート・アルバイト    ⑥無職 ⑦その他（      ）
(5) 自動車運転免許は？	①免許があり、運転に支障はない ②免許はあるが、運転に不安があり運転を控えている ③免許はあるが、返納を考えている ④免許をすでに返納した ⑤免許を取得していない
(6) 自動車所有状況は？	①いつでも自由に使える車がある ②ある程度は自由に使える車がある ③自由に使える車はない
(7) 1人で外出することが可能ですか？	①1人で外出できる ②付き添いがあれば外出できる ③外出できない

## 2

## 日常の外出行動についてお聞かせください。

問2. あなたは普段、買物や通院等で外出する時に主にどこへ行きますか？

外出する目的ごとに、(ア) 主な行き先、(イ) 外出時の主な交通手段、(ウ) 外出頻度の中からそれぞれ該当するもの1つに○印をつけてください。

なお、鉄道・路線バスを利用している場合は、駅・バス停までの交通手段についてもお答えください。

目的	(ア) 主な行き先	(イ) 利用交通手段	(ウ) 外出頻度
(1) 通勤・通学	①市内 ②鳴門市 ③小松島市 ④阿南市 ⑤石井町・吉野川市 ⑥松茂町・北島町・藍住町 ⑦その他の県内市町村 ⑧県外市町村 ⑨通勤・通学していない	①鉄道 } ②路線バス } → 駅・バス停までの交通手段 ③自分で車を運転 ④家族等の車での送迎 ⑤タクシー ⑥バイク・自転車 ⑦徒歩 ⑧その他 ( )	①週に5日以上 ②週に3～4日 ③週に1～2日 ④月に2～3日 ⑤月に1日 ⑥年に数日 ⑦その他 ( )
(2) 買物	①そごう徳島店 ②キョーエイ ③マルナカ ④ゆめタウン徳島 ⑤フジグラン北島・石井 ⑥セブン ⑦その他の市内店舗 (店舗名 ) ⑧その他の市外店舗 (店舗名 )	①鉄道 } ②路線バス } → 駅・バス停までの交通手段 ③自分で車を運転 ④家族等の車での送迎 ⑤タクシー ⑥バイク・自転車 ⑦徒歩 ⑧その他 ( )	①週に5日以上 ②週に3～4日 ③週に1～2日 ④月に2～3日 ⑤月に1日 ⑥年に数日 ⑦その他 ( )
(3) 通院	①徳島大学病院 ②県立中央病院 ③徳島市民病院 ④徳島赤十字病院 ⑤その他の市内病院 (病院名 ) ⑥その他の市外病院 (病院名 )	①鉄道 } ②路線バス } → 駅・バス停までの交通手段 ③自分で車を運転 ④家族等の車での送迎 ⑤タクシー ⑥バイク・自転車 ⑦徒歩 ⑧その他 ( )	①週に5日以上 ②週に3～4日 ③週に1～2日 ④月に2～3日 ⑤月に1日 ⑥年に数日 ⑦その他 ( )

目的	(ア) 主な行き先	(イ) 利用交通手段	(ウ) 外出頻度	
(4) 行政・金融機関利用	①徳島市役所 ②支所・コミセン ③金融機関 ④郵便局 ⑤その他の市内の機関 (機関名 ) ⑥その他の市外の機関 (機関名 )	①鉄道 } ②路線バス } → ③自分で車を運転 ④家族等の車での送迎 ⑤タクシー ⑥バイク・自転車 ⑦徒歩 ⑧その他 ( )	<b>駅・バス停までの交通手段</b> ①路線バス ②自分で車を運転 ③家族等の車での送迎 ④タクシー ⑤バイク・自転車 ⑥徒歩 ⑦その他 ( )	①週に5日以上 ②週に3～4日 ③週に1～2日 ④月に2～3日 ⑤月に1日 ⑥年に数日 ⑦その他 ( )
(5) 趣味・娯楽、その他	①徳島市立図書館 ②ふれあい健康館 ③とくしま動物園・植物園 ④その他の市内施設、 店舗等 ( ) ⑤その他の市外施設、 店舗等 ( )	①鉄道 } ②路線バス } → ③自分で車を運転 ④家族等の車での送迎 ⑤タクシー ⑥バイク・自転車 ⑦徒歩 ⑧その他 ( )	<b>駅・バス停までの交通手段</b> ①路線バス ②自分で車を運転 ③家族等の車での送迎 ④タクシー ⑤バイク・自転車 ⑥徒歩 ⑦その他 ( )	①週に5日以上 ②週に3～4日 ③週に1～2日 ④月に2～3日 ⑤月に1日 ⑥年に数日 ⑦その他 ( )



### 3 お住まいの地域での現在及び将来の移動についてお聞かせください。

問5. 現在の移動、及び将来（10年後）の移動に対する不安について、最もあてはまる番号それぞれ1つに○印をつけてください。

①～③すべてについて、現在・将来のそれぞれにお答えください。

区 分	現在				将来 (10年後)	
	1人で 十分できる	1人で 何とかできる	誰かの助けが あればできる	できない	不安は感じ ない	不安を感じる
例) 買物先への移動について	1	②	3	4	1	②
①買物先への移動について	1	2	3	4	1	2
②通院先への移動について	1	2	3	4	1	2
③その他の移動について	1	2	3	4	1	2

### 4 公共交通の利用意向についてお聞かせください。

問6. 買物や通院などで外出する時、仮に自宅付近から目的地付近まで運行するバスがあれば、利用しますか？（1つに○印）

①利用すると思う **⇒問7へお進み下さい**

②利用しないと思う **⇒問9へお進み下さい**

問7. 問6で「①利用すると思う」とお答えの方にお聞きします。あなたがバスを利用したいと思う最低限のサービス水準をお答えください。

(1) 自宅からバス停まで徒歩で何分までなら、バスを利用したいと思いませんか？

(1つに○印)

① 3分まで      ② 5分まで      ③ 10分まで      ④ 15分まで      ⑤ 15分以上

(2) どのくらいの運行本数があれば、バスを利用したいと思いますか？(1つに○印)

- |           |         |         |         |
|-----------|---------|---------|---------|
| ①20分に1本以上 | ②30分に1本 | ③1時間に1本 | ④2時間に1本 |
| ⑤3時間に1本   | ⑥1日に1本  | ⑦週に2、3本 |         |

(3) 片道の運賃がいくらまでなら、バスを利用したいと思いますか？(1つに○印)

- |       |       |       |       |         |     |
|-------|-------|-------|-------|---------|-----|
| ①100円 | ②200円 | ③300円 | ④400円 | ⑤500円以上 | ⑥無料 |
|-------|-------|-------|-------|---------|-----|

(4) 何時ごろにバスがあれば、利用したいと思いますか？最も利用したいと思う時刻を、自宅からの「行き」と「帰り」それぞれ記入してください。

午前か午後○印をご記入の上、( )に時刻を記入してください。

行き : 午前 ・ 午後 ( ) 時ごろ

帰り : 午前 ・ 午後 ( ) 時ごろ

※記入例 (午前) ・ 午後 ( 7 ) 時ごろ

問8. 問6で「①利用すると思う」とお答えの方にお聞きします。問7(1)～(4)のサービス水準のバスが運行することとなった場合、バスをどのくらい利用したいと思いますか？(1つに○印)※1往復を1回としてお答えください。

- |         |          |         |         |
|---------|----------|---------|---------|
| ①週に5回以上 | ②週に3～4回  | ③週に1～2回 | ④月に2～3回 |
| ⑤月に1回以下 | ⑥その他 ( ) |         |         |

## 5

## 公共交通の維持・確保についてお聞かせください。

徳島市バスの1日の利用者数は、昭和41年度には約9万人でしたが、平成25年度には約1万人まで減少しており、路線の維持が厳しい状況にあります。

市バスの運行維持には、多額の経費が必要となっており、このまま利用者の減少が続くと、市の財政負担はさらに増加していくと考えられます。

このため、市では、バスの利用促進のためのルート・ダイヤの見直しや、運行業務の民間委託など、バス路線の維持・確保に取り組んでいます。

このような状況を踏まえ、以下の設問についてお答えください。

問9. お住まいの地域を運行する、路線バスなどの公共交通について、徳島市は今後どのような方向で取り組む必要があると思いますか？（1つに○印）

- ①現状より充実させていくべきだ
- ②現状の程度で維持していくべきだ
- ③人口減少や利用者数の減少などにより、公共交通の縮小はやむを得ない
- ④その他（具体的に )

問10. 既存路線の延伸やルートの一部変更、地域内を運行する小型バスの導入などの方法で、お住まいの地域の公共交通を今より充実させる場合、新たな費用の発生が見込まれますが、どのようにして費用をまかなうことが望ましいと思いますか？（1つに○印）

- ①行政（税金）の負担に加え、費用に見合った運賃を設定することで、利用者が費用を負担する
- ②行政（税金）の負担に加え、地域住民（町内会など）や地元企業の協力により費用を負担する
- ③行政（税金）で費用をまかなう
- ④利用者、地域住民、及び地元企業などで費用をまかなう。
- ⑤その他（具体的に )

問 11. 徳島市の公共交通について、あなたのご意見、ご要望をお聞かせください。

Blank area for writing answers, consisting of multiple horizontal dashed lines within a rectangular border.

これでアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。  
ご記入いただいた調査票は、返信用封筒に入れ、〇月〇日(△)  
までにご投函ください。